

日商簿記 2 級弱点克服セミナー

～ 連結会計の基本を再確認～



担当講師：上原 康司

資格の学校 **TAC**

ご視聴にあたってのお願い



セミナーの様子、講師の写真や動画を撮影したり、それをInstagram、Twitter、Facebook等、SNS各種にアップしたりすることは禁止です。肖像権侵害により法的責任を問われますのでご注意ください。

**日商2級セミナー
～連結会計の基本を再確認～**

連結会計の基本部分を解説

【対象者】

◆ 日商2級の『連結決算』以外の学習を終わらせた方

【内容】

▼ 連結決算とは？

▼ 支配獲得時、支配獲得後1期目の連結修正仕訳

▼ Q&A（本日の範囲でお願いします）

◆直前期をむかえた皆様へアドバイス

- ① 2級の学習範囲を理解できていますか？
- ② 本試験の出題傾向を把握しましょう！
90分の時間内で解答することを意識しましょう！
- ③ 苦手としている論点をなくすように心がけましょう！
- ④ 「工業簿記」（第4問・第5問）は基本をしっかり理解
していれば高得点をねらえます！
- ⑤ 「商業簿記」（第2問・第3問）は、時間を多く要します。
第2問では、連結会計が出題されることがあります！
第3問の損益計算書作成・貸借対照表作成では、演習を積む
ことが大切です。

日商簿記2級の本試験について

【商業簿記】

第1問 (20点) 仕訳問題 (@4点×5題)

第2問 (20点) 連結会計・個別論点

第3問 (20点) 個別決算・本支店会計

論点毎の 期中仕訳 ~ 決算整理仕訳
(複数会計期間にわたることもあり)

一つの会社の決算。会社の集団(グループ)での
決算は 第2問“連結会計”

【工業簿記】

第4問 問1 (12点) 仕訳問題

費目別、個別・総合原価計算、標準原価計算、
本社工場会計 など

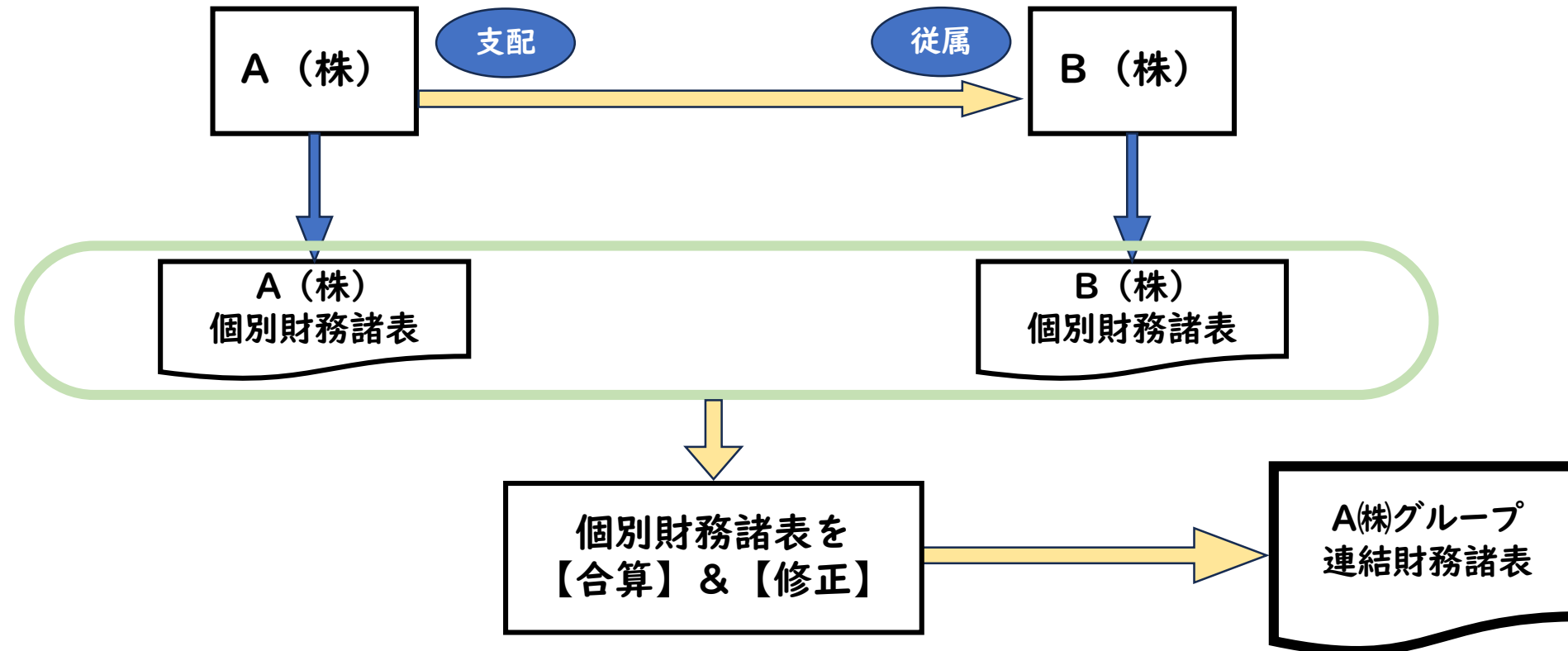
問2 (16点) 個別原価計算, 総合原価計算

第5問 (12点) 標準原価計算, 直接原価計算・CVP分析

会社は個別の会社ごとに財務諸表を作成しなければならない。

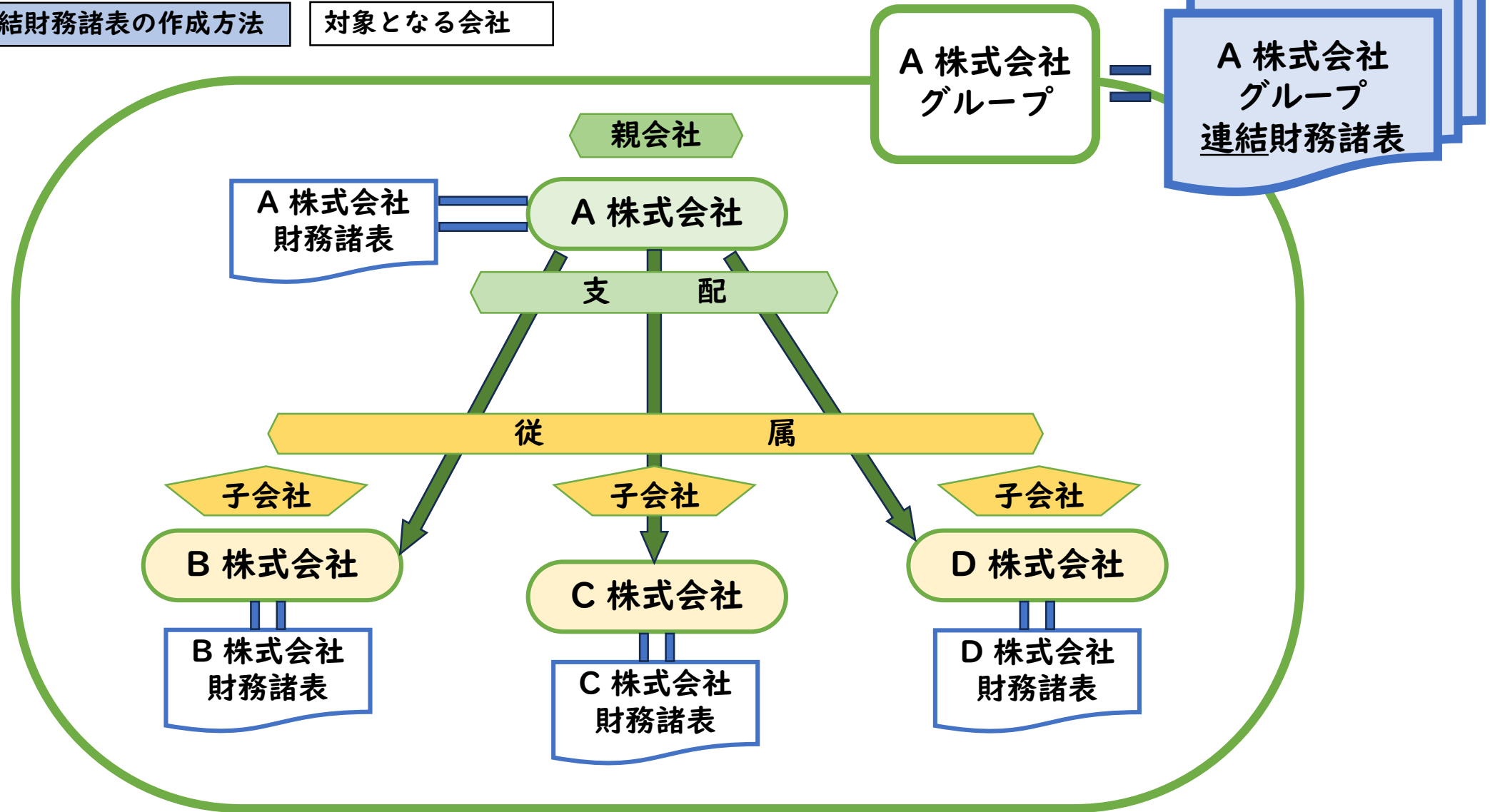
支配従属の関係にある会社は、更に連結財務諸表を作成しなければならない。

連結財務諸表の作成方法



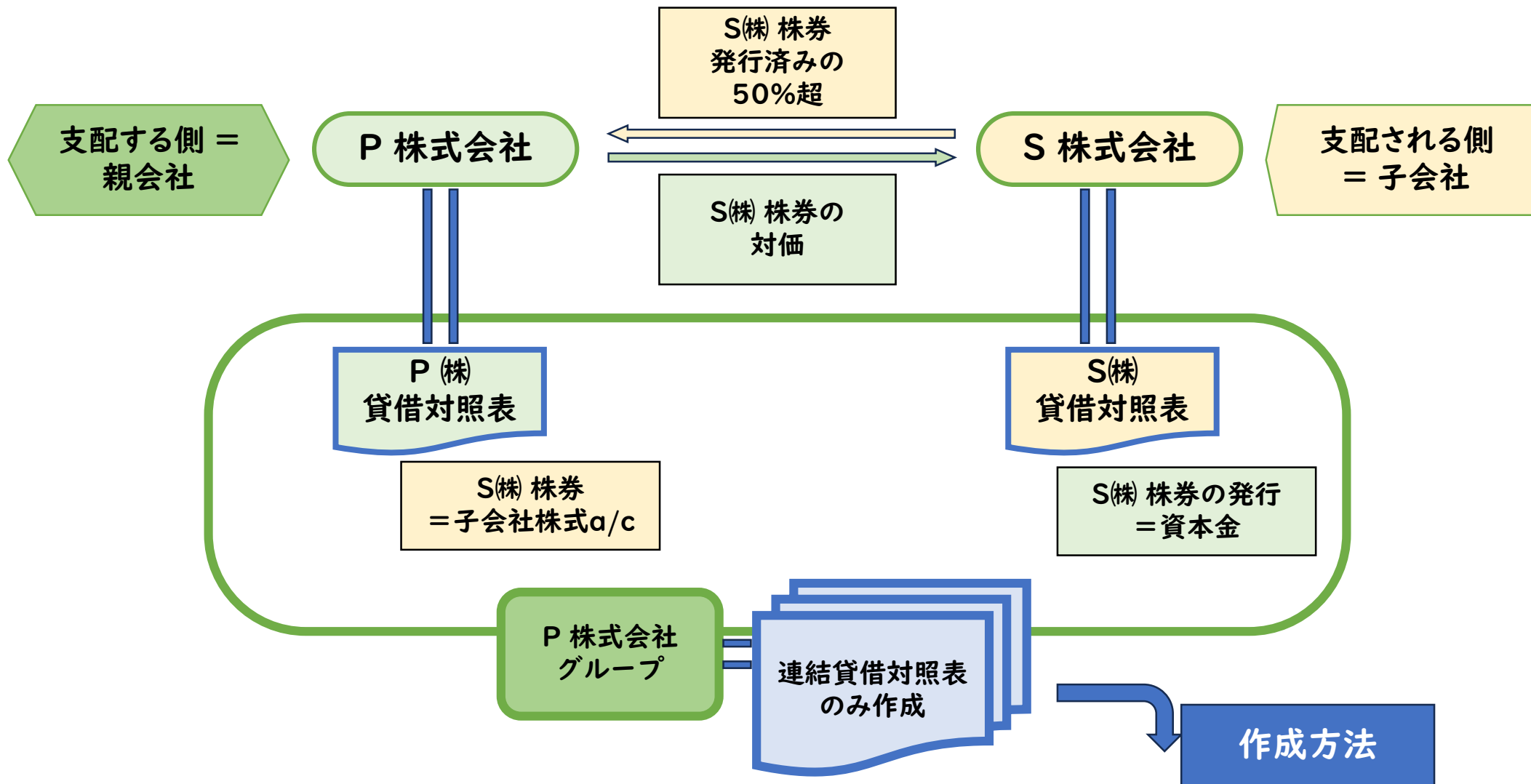
連結財務諸表の作成方法

対象となる会社



連結財務諸表の作成方法

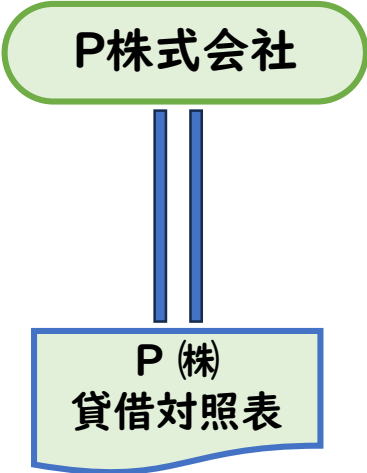
支配獲得日（支配従属関係の成立日）



1

連結財務諸表の作成方法

支配獲得日（支配従属関係の成立日）



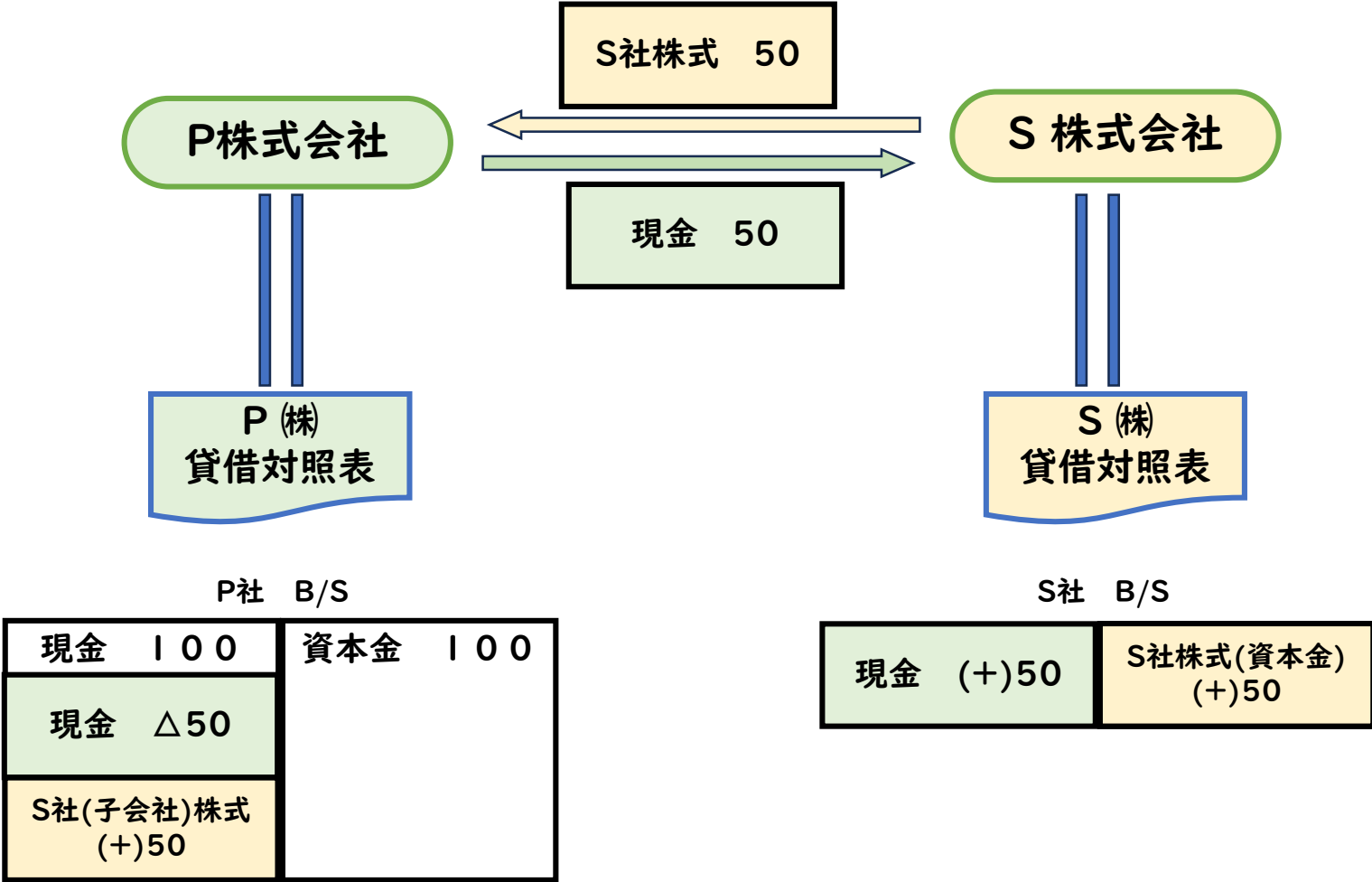
P社 B/S

現金	100	資本金	100

1-1

連結財務諸表の作成方法

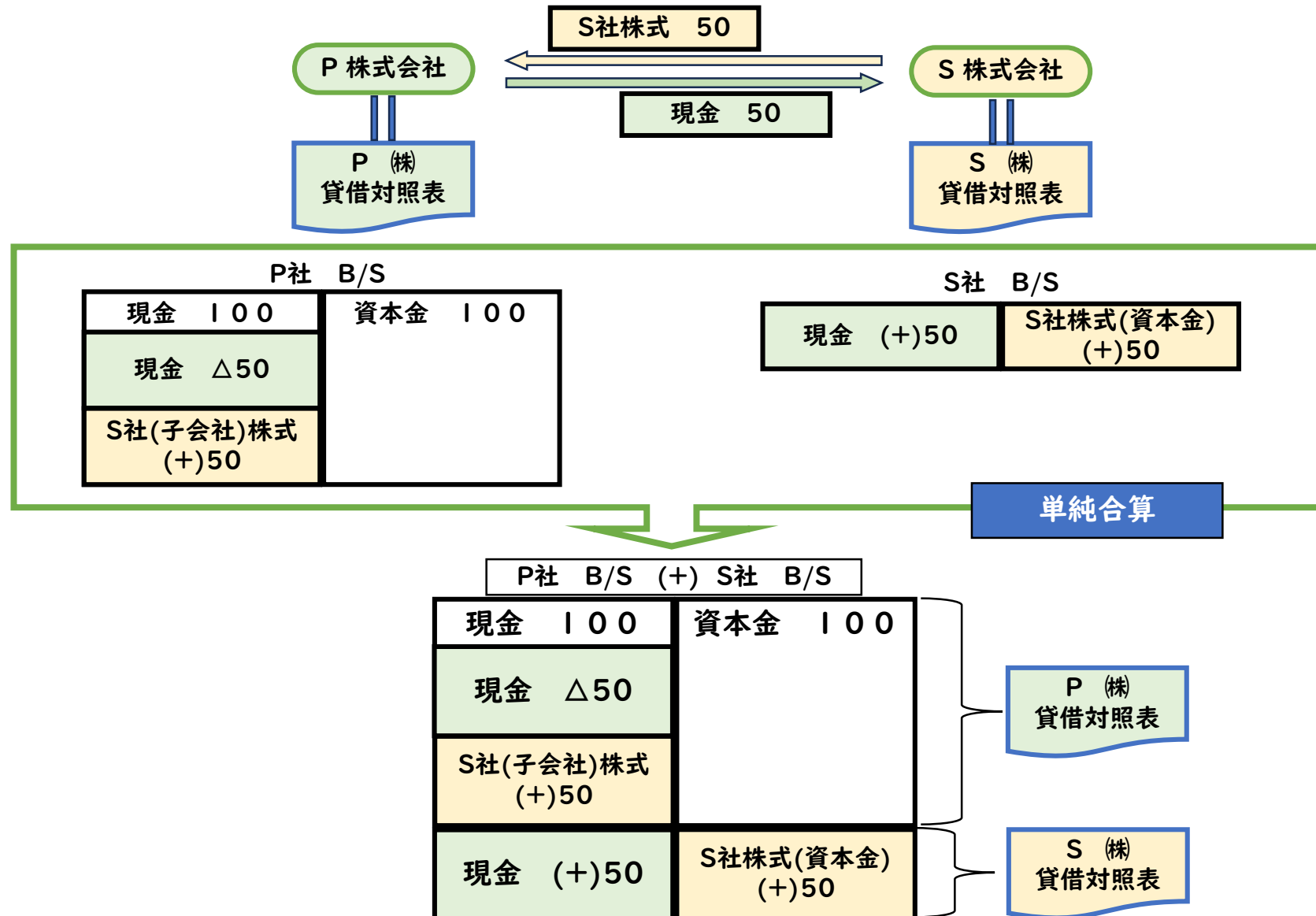
支配獲得日（支配従属関係の成立日）・・・【例】完全子会社の設立



2

連結財務諸表の作成方法

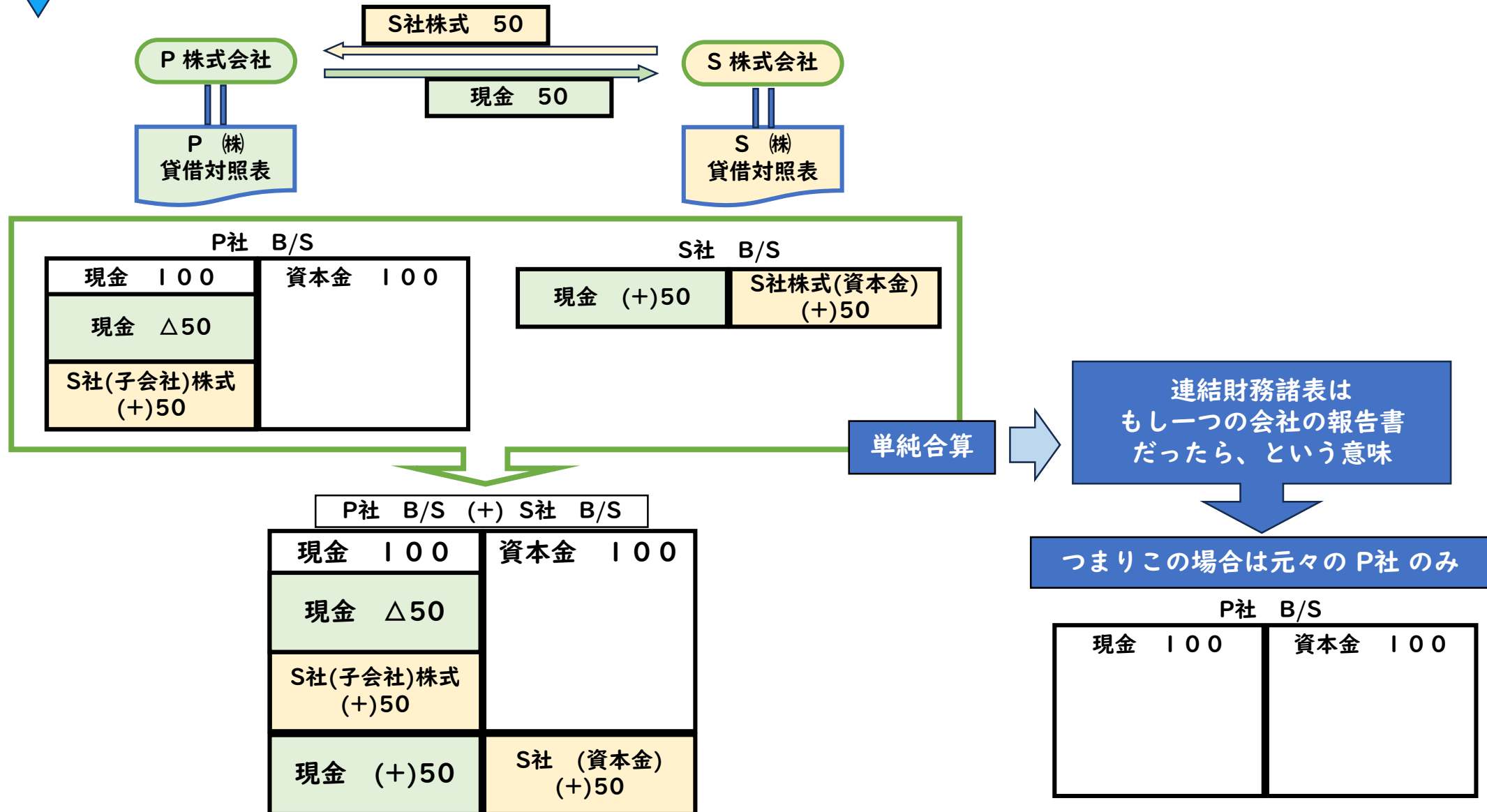
支配獲得日（支配従属関係の成立日）・・・連結B/Sのみ作成



3

連結財務諸表の作成方法

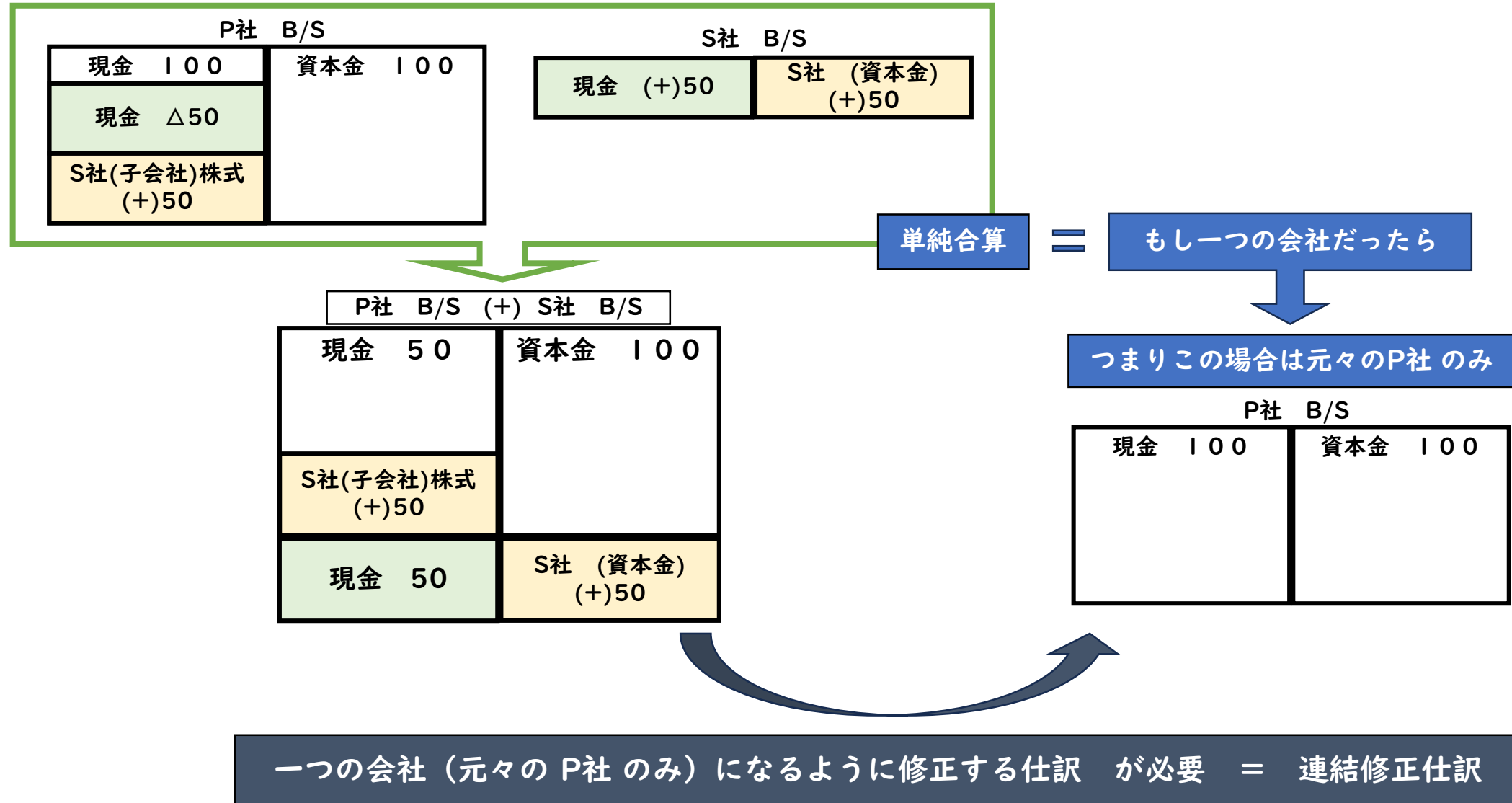
支配獲得日（支配従属関係の成立日）



4

連結財務諸表の作成方法

支配獲得日（支配従属関係の成立日）



5

連結財務諸表の作成方法

支配獲得日（支配従属関係の成立日）

もし一つ会社だったら

P社 B/S (+) S社 B/S	
現金 50	資本金 100
P社(子会社)株式 (+)50	
現金 50	S社 (資本金) (+)50

つまりこの場合は元々の P社 のみ

A社 B/S	
現金 100	資本金 100

一つ会社（元々の P社 のみ）になるように修正する仕訳 が必要 = 連結修正仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
S社 (資本金)	50	S社(子会社)株式	50

S社の【資本】

と

P社が持っている【投資】

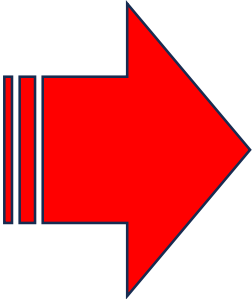
の 相殺消去

6

連結財務諸表の作成方法

支配獲得日（支配従属関係の成立日）

P社 B/S (+) S社 B/S	
現金 50	資本金 100
S社(子会社)株式 (+)50	
現金 50	S社 (資本金) (+)50



P社 B/S と同じ内容の
【連結貸借対照表】

現金 100	資本金 100
--------	---------

連結修正仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
S社 (資本金)	50	S社 (子会社) 株式	50

S社の【資本】

と

P社が持っている【投資】

の 相殺消去

∴ 支配獲得日の連結修正仕訳：投資と資本の相殺仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
資本金	50	子会社株式	50

7

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後Ⅰ期目

X1/3/31

支配獲得日

X2/3/31

支配獲得後Ⅰ期目

連結修正仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	5 0	子会社株式	5 0

連結修正仕訳を行う【仕訳帳が無い】ため
『連結精算表』上で行っている仕訳

引き継ぐ

開始仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	5 0	子会社株式	5 0

連結修正仕訳を行う仕訳帳が無いため
翌年も**同じ仕訳**を行わなければならない
＝『開始仕訳』

1

完全子会社ではない場合＝親会社以外の株主（非支配株主）がいる場合

P社はX1年3月31日に、S社の発行済議決権株式の80%を100,000円で取得し、支配を獲得した。
支配獲得日におけるP社及びS社の資本は次の通りである。

【S社資本】資本金 50,000円、資本剰余金 25,000円、利益剰余金 25,000円

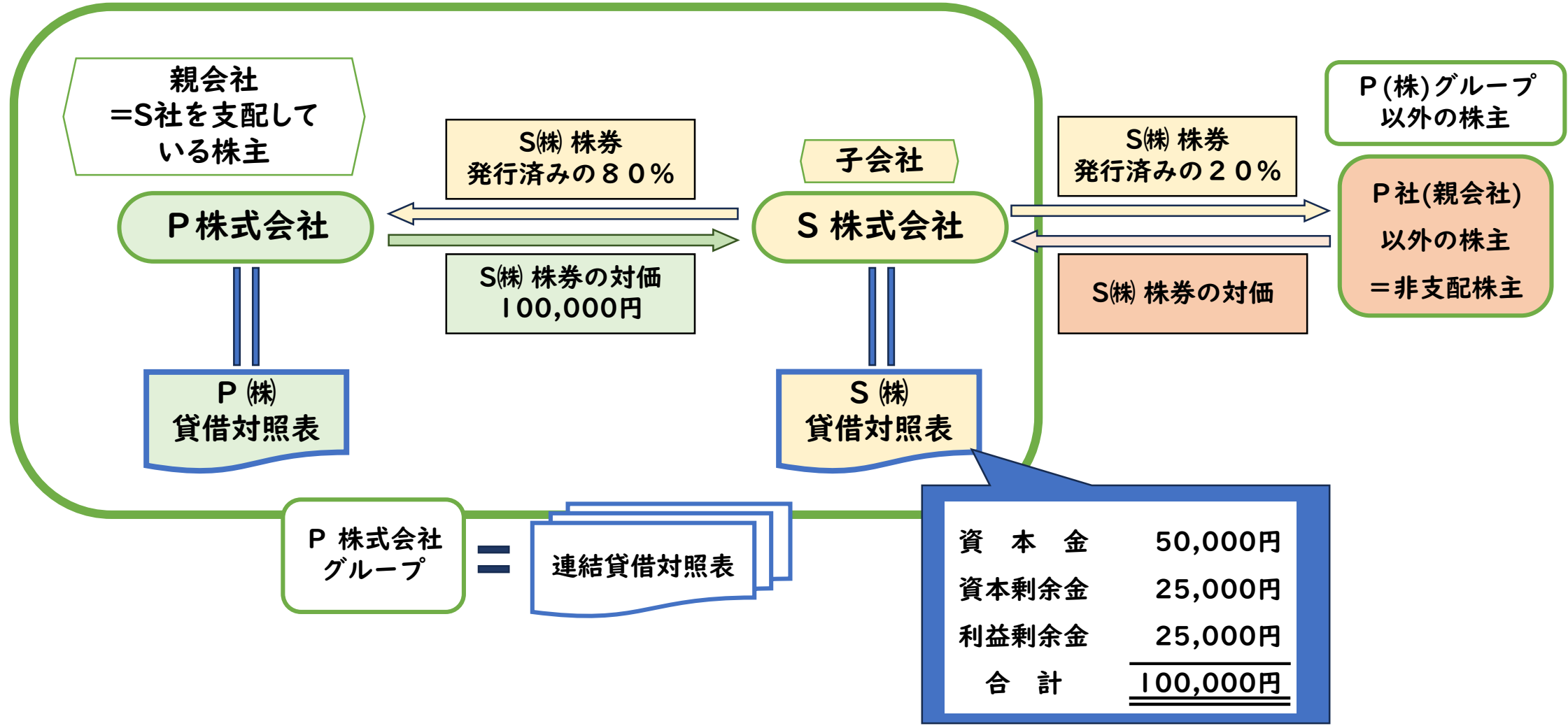
よって、X1年3月31日における連結貸借対照表を作成するための連結修正仕訳を示しなさい。

【S社資本】

資 本 金	50,000円
資本剰余金	25,000円
利益剰余金	25,000円
合 計	<u>100,000円</u>

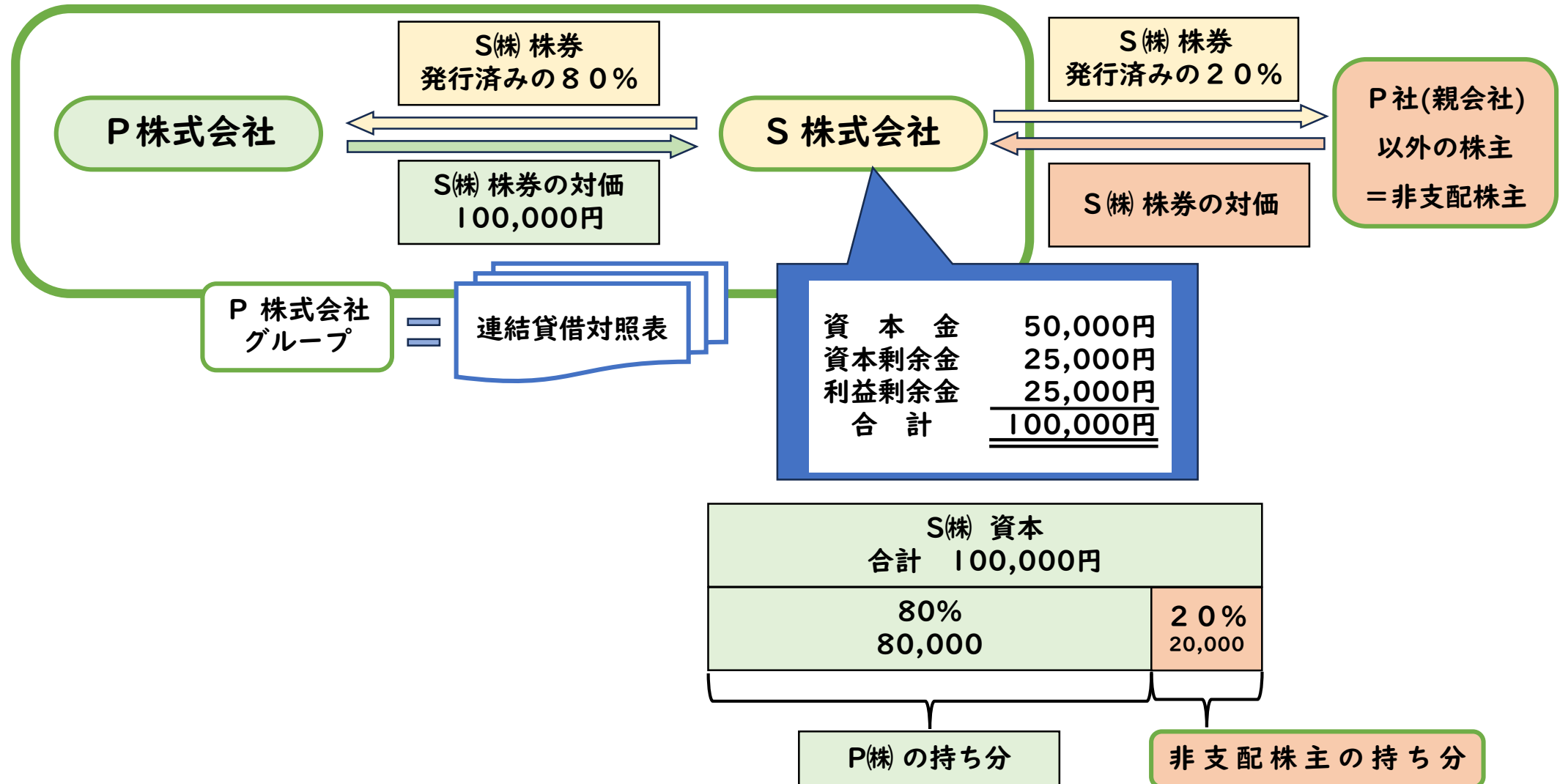
2

完全子会社ではない場合



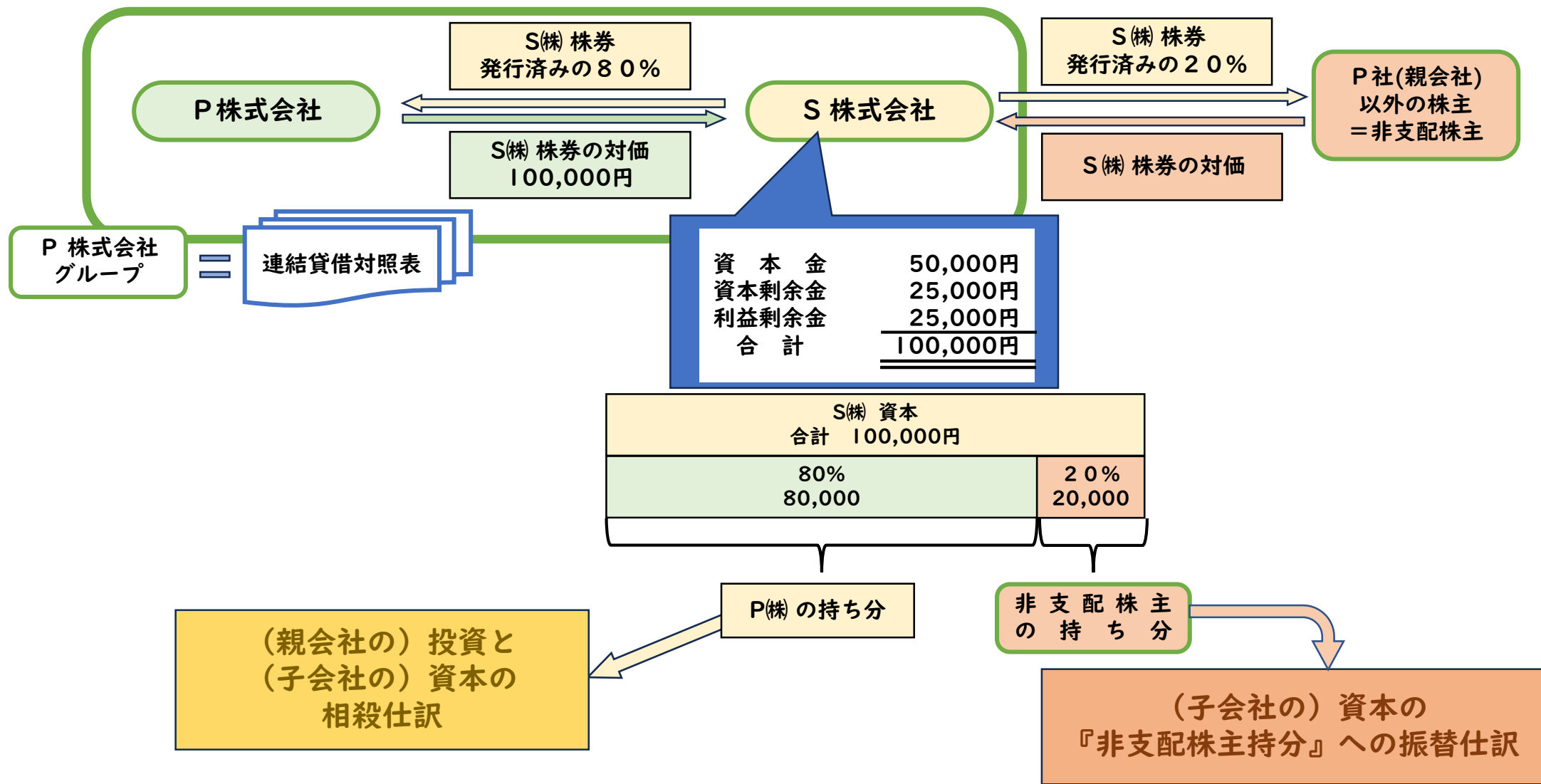
3

完全子会社ではない場合



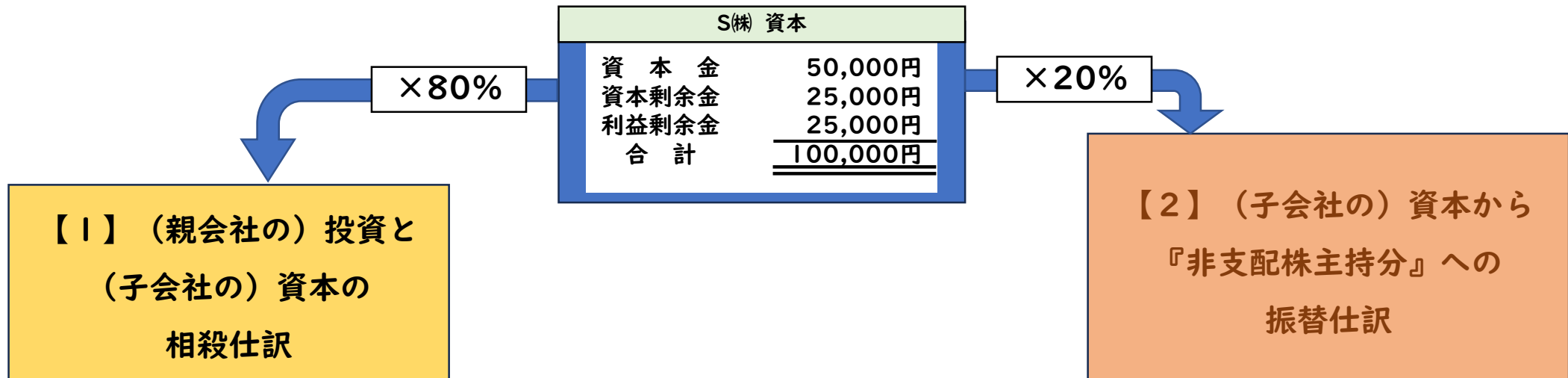
3-1

完全子会社ではない場合



3-2

完全子会社ではない場合



【1】（親会社の）投資と（子会社の）資本の相殺仕訳（80%）・・・差額が【のれん】

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	40,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	20,000		
利益剰余金	20,000		
のれん	20,000		

【2】（子会社の）資本から『非支配株主持分』への振替仕訳(20%)

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	10,000	非支配株主持分	20,000
資本剰余金	5,000		
利益剰余金	5,000		

3-3

完全子会社ではない場合

(親会社の) 投資と (子会社の) 資本の
相殺仕訳 (80%)・・・差額が【のれん】

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	40,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	20,000		
利益剰余金	20,000		
のれん	20,000		

(子会社の) 資本の
『非支配株主持分』への
振替仕訳(20%)

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	10,000	非支配株主持分	20,000
資本剰余金	5,000		
利益剰余金	5,000		

まとめて仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	50,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	25,000	非支配株主持分	20,000
利益剰余金	25,000		
のれん	20,000		

S(株) 資本

資 本 金	50,000円
資本剰余金	25,000円
利益剰余金	25,000円
合 計	<u>100,000円</u>

3-3

完全子会社ではない場合

P社はX1年3月31日に、S社の発行済議決権株式の80%を100,000円で取得し、支配を獲得した。
支配獲得日におけるP社及びS社の資本は次の通りである。

【S社資本】資本金 50,000円、資本剰余金 25,000円、利益剰余金 25,000円
よって、X1年3月31日における連結貸借対照表を作成するための連結修正仕訳を示しなさい。

(親会社の)投資と (子会社の)資本の
相殺仕訳(80%)・・・差額が【のれん】

+

(子会社の)資本の
『非支配株主持分』への
振替仕訳(20%)

【連結修正仕訳】

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	50,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	25,000	非支配株主持分	20,000
利益剰余金	25,000		
のれん	20,000		

4

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後 1 期目

P社はX1年3月31日に、S社の発行済議決権株式の80%を100,000円で取得し、支配を獲得した。

支配獲得日におけるP社及びS社の資本は次の通りである。

【S社資本】資本金 50,000円、資本剰余金 25,000円、利益剰余金 25,000円

なお、のれんは10年で均等償却する。

よって、当期（X1年4月1日からX2年3月31日）における連結修正仕訳を示しなさい。

なお、当期における上記以外の項目は次のとおりである。

《当期純利益》 P社 20,000円 S社 10,000円

《受取配当金》 P社 4,000円 S社 0円

[S社は当期において、5,000円の配当を行っている。]

【X2年3月31日S社資本】資本金 50,000円、資本剰余金 25,000円、利益剰余金 30,000円

4-1

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後Ⅰ期目

【Ⅰ】開始仕訳

X1/3/31

支配獲得日

X2/3/31

支配獲得後Ⅰ期目

連結修正仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
資本金	50,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	25,000	非支配株主持分	20,000
利益剰余金	25,000		
のれん	20,000		

引き継ぐ

開始仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
資本金	50,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	25,000	非支配株主持分	20,000
利益剰余金	25,000		
のれん	20,000		

連結修正仕訳を行う【仕訳帳が無い】ため
『連結精算表』上で行っている仕訳

連結修正仕訳を行う仕訳帳が無いため
翌年も同じ仕訳を行わなければならない
＝『開始仕訳』

4-2

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後Ⅰ期目

【2】期中仕訳 (1) のれんの償却

(2) 子会社の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え

(3) 子会社が行った配当の修正

(1) のれんの償却

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
のれん償却		の れ ん	

(2) 子会社の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
非支配株主に帰属 する当期純利益		非支配株主持分	

(3) 子会社が行った配当の修正

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
受取配当金		利益剰余金	
非支配株主持分			

4-2

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後Ⅰ期目

【2】期中仕訳 (1) のれんの償却 (2) 子会社の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え
(3) 子会社が行った配当の修正

X2/3/31

支配獲得後Ⅰ期目

開始仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
資 本 金	50,000	子会社株式	100,000
資本剰余金	25,000	非支配株主持分	20,000
利益剰余金	25,000		
のれん	20,000		

期中仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
のれん償却	2,000	の れ ん	2,000

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
非支配株主に帰属 する当期純利益		非支配株主持分	

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
受取配当金		利益剰余金	
非支配株主持分			

4-2

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後 | 期目

【２】期中仕訳

（１）のれんの償却	（２）子会社の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え
（３）子会社が行った配当の修正	

(1) のれんの償却

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
のれん償却	2,000	の れ ん	2,000

償却額 = 20,000 ÷ 10年 = 2,000

(2) 子会社の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
非支配株主に帰属 する当期純利益	2,000	非支配株主持分	2,000

振替額=10,000（子会社の当期純利益）×20%（非支配株主持分）=2,000

4-2

連結財務諸表の作成方法

支配獲得後Ⅰ期目

【2】期中仕訳 (1) のれんの償却 (2) 子会社の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え
(3) 子会社が行った配当の修正

(3) 子会社が行った配当の修正

[S社は当期において、5,000円の配当を行っている。]
 という資料より、親会社の持分である80%
 $5,000円 \times 80\% = 4,000円$

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
受取配当金	4,000	利益剰余金	5,000
非支配株主持分	1,000		

[S社は当期において、5,000円の配当を行っている。]
 という資料より、非支配株主持分である20%
 $5,000円 \times 20\% = 1,000円$

[S社は当期において、5,000円の配当を行っている。] という資料より

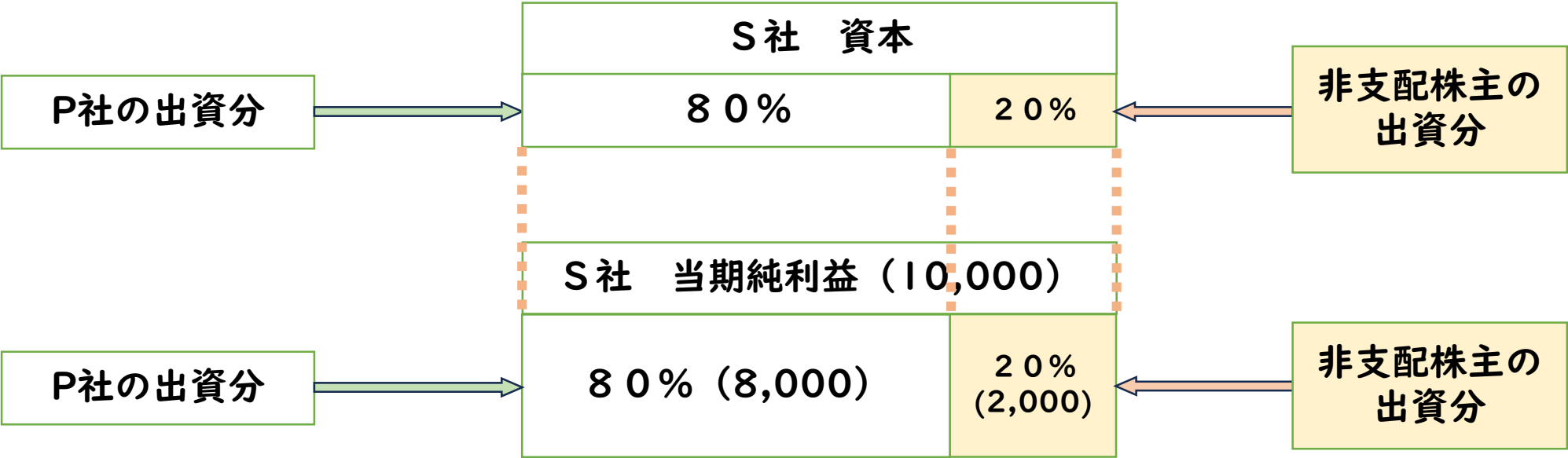
4-2

解 説

(2) 子会社 (S社) の当期純利益の内、非支配株主持分を振り替え

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
非支配株主に帰属する当期純利益	2,000	非支配株主持分	2,000

振替額 = 10,000 (子会社・S社の当期純利益) × 20% (非支配株主持分) = 2,000



連結精算表 一部

科 目	個別財務諸表		修正消去		連結財務諸表
	P 社	S 社	借 方	貸 方	
貸借対照表					連結貸借対照表
:					
: 非支配株主持分				2,000	
損益計算書					連結損益計算書
:					
:					
当期純利益	20,000	10,000			30,000
非支配株主に帰属する 当期純利益			2,000		▲ 2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益					= 8,000

非支配株主に帰属する当期純利益: S社「当期純利益」 10,000円×20%= 2,000

TAC 日商簿記2級直前対策

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_crs_chokuzen.html



▶ 2級直前対策（全8回）

統一・ネット試験対策

カリキュラム

2級総まとめ 講義演習

全3回

総合問題を解くための
解法テクニックを確認

2級プレ答練

1回

問題を解くことに
慣れるための
演習

ネット試験
模擬プログラム
付!

<https://youtu.be/Aapcq7JSbYc>

2級解法力 完成答練

全4回

本試験レベルの問題を解き、
解答手順そして、
知識の最終確認をする

TAC「日商簿記2級受験生必見！試験前30日間にやってほしいこと」（動画）

https://youtu.be/_wng9p0LIEA



TAC 事務局よりご案内

予約優先制・個別受講相談 **【参加無料】**



★ TAC 個別受講相談予約（西日本地区）サイト
<https://www.tac-school.co.jp/west/soudan.html>

資格の学校 **TAC**

全国直営22校・提携12校 | 東証スタンダード上場（証券コード4319）

簿記検定 ビジネス会計検定試験® ビジネス実務法務検定試験®
公認会計士 税理士 公務員 教員 行政書士 TOEIC® L&R TEST
社会保険労務士 中小企業診断士 宅地建物取引士 通関士
不動産鑑定士 建築士 情報処理（ITパスポート 他） 他、多数

TACの校舎は駅近で好立地



TAC 京都校
075-351-1122



TAC 梅田校
06-6371-5781



TAC なんば校
06-6211-1422



TAC 神戸校
078-241-4895

※難易度は目安です。

外側
難

お金の流れやしくみを理解し、
実務に強い金融の専門家に!

金融関係

法人案件では
会計書類を読むことも!

法律関係

合格後の
独立開業時にも
簿記知識が役立つ!

不動産・建築・
設備関係

易
内側

日商簿記
3級

すべての社会人に
役立つ
ビジネススキル

「会計×英語」のかけ合わせで
市場価値を上げられる!

国際会計・
語学関係

財務・会計に強い
企業経営・労務の専門家に!

経営・労務関係

専門性をさらに高め、
柔軟性を持った
応用の利く会計人に!

会計関係

自分にピッタリな資格を見つけよう!

USCPA
(米国公認会計士)

USCMA
(米国公認管理会計士)

EA
(米国税理士)

社会保険労務士

中小企業診断士

企業経営
アドバイザー

TOEIC®

経理・財務スキル
(FASS)検定

ビジネス会計
検定試験®

CFA®

FP1級・CFP®

証券アナリスト

FP2級・AFP

FP3級

司法書士

弁理士

行政書士

不動産鑑定士

建築士

マンション管理士・
管理業務主任者

宅建士
(宅地建物取引士)

通関士

税理士

公認会計士

日商簿記1級

日商簿記2級

TAC 関連サイトのご案内♡

★ TAC 簿記検定 直前対策 サイト

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_crs_chokuzen.html

★TAC 簿記検定 開講講座一覧サイト

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_crs_idx.html

★TAC セミナー/講座説明会/体験入学 案内サイト

<https://www.tac-school.co.jp/guidance.html>

★TAC 検定・資格&仕事紹介セミナー 案内サイト

<https://www.tac-school.co.jp/west/s.html>

★TAC 「見つけよう!自分にぴったりの資格」サイト

<https://www.tac-school.co.jp/pittari.html>

